

平和のひろば

題字 ねなしがづら書

住宅地にミサイルはいらない！ 基地なくし住宅と緑を！

朝霞駐屯地 原爆の日 実弾射撃断念！

8月2日、練馬平和委員会は練馬区総務より「8月6日に朝霞訓練場射場で実施される実弾射撃が中止になった」と連絡を受けた。練馬区は7月27日、朝霞駐屯地へ抗議、練馬区も朝霞駐屯地へ中止要請をした。左下は8月1日の練馬区報である。区

は毎年原爆の日や終戦記念日に区報で職員や住民に黙祷を呼びかけている。住民や練馬区は自衛隊へ向けた願いがかなえられ感謝している。なお、朝霞駐屯地では被爆3世の隊員も働いている。


【実弾射撃中止まで 道のり】

- 平成18年8月9日：市民・議員・行政「原爆投下日訓練自粛」駐屯地に申し入れ空包訓練中止。女性隊員11時2分、黙祷！。
- 平成19年8月6日：空包訓練が午後となる。
- 平成20年 原爆の日に訓練該当無し。
- 平成21年8月6日：訓練強行。実弾2000発から400発に縮小。
- 平成22年8月6日：練馬区の中止要請に朝霞駐屯地は実弾訓練中止を発表。

平和祈念の黙とうをささげましょう

広島市・長崎市の原爆死没者の冥福を祈り、世界の恒久平和の実現を願って、次の時刻に1分間の黙とうをささげましょう。

□広島市…8月6日(金)午前8時15分
□長崎市…8月9日(月)午前11時2分



空自セクハラ 国に580万円 支払い命令 元女性隊員が全面勝訴

道内の航空自衛隊基地に勤務していた元自衛官の女性(24)が同僚の男性隊員(35)からわいせつ行為を受け、被害を相談した上司に逆退職を強要されたとして、国に約1100万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が29日、札幌地裁であった。橋詰



弁護士などの記者会見

原告のコメント 「素晴らしい判決でとても嬉しい。私は3年3ヶ月前、原職の航空自衛官として提訴しました。未だ誰も歩いたことの無い道を歩くのは大変なことです。立ち止まりそうになった時には、ここにいる弁護士や支援する会を始め、多くの人がいたからこそ、今日の判決を迎えることができました。自衛

隊においても人権が保障される方向に大きく変わって欲しいと願っています。私を支えてくれた人たちに最上級の感謝を伝えたいと思います。」

女性自衛官の人権裁判を支援する会 ホームページより掲載。

7月15日、日本平和大会練馬実行委員会は防衛省内で、屋外実弾射撃訓練中止や観閲式(10月24日)における航空機への低空飛行中止などを求めて交渉した。防衛省は航空機の低空飛行(飛ばす時間帯など)については周辺町内会などへ通知する。機関銃の弾の鉛害調査については自治体より依頼があれば調査すると答えた。

昨年1月琉球新報は、沖縄県の自衛隊のトップが「屋内射撃場は雨水による鉛汚染の心配もなく環境汚染へ充分配慮」と報じている。

均裁判長は女性の請求をほぼ全面的に認め、国に対し580万円を支払うよう命じた。自衛隊内のセクハラ(性的嫌がらせ)をめぐる訴訟で国の責任が認められるのは異例。(北海道新聞7月29日夕刊掲載)

朝霞訓練場の実弾訓練中止を求める

自衛隊による騒音など電話相談窓口
練馬区役所

電話：5984-2600(総務係)
電話：3993-1101(夜間・祭日)

*練馬区は住民の声を朝霞・練馬駐屯地へ確実に届けています。

いじめ・セクハラ 首切られた 残業代なし

労働相談ホットライン

労働組合へ入りたい人も 自衛官も歓迎！

0120-378-060

東京地評 / 東京労働相談センター

秘密厳守
相談無料

このチラシは自衛隊駐屯地周辺1,400世帯に配布。

情報公開法で見た観閲式

陸上自衛隊朝霞訓練場(朝霞市・新座市)

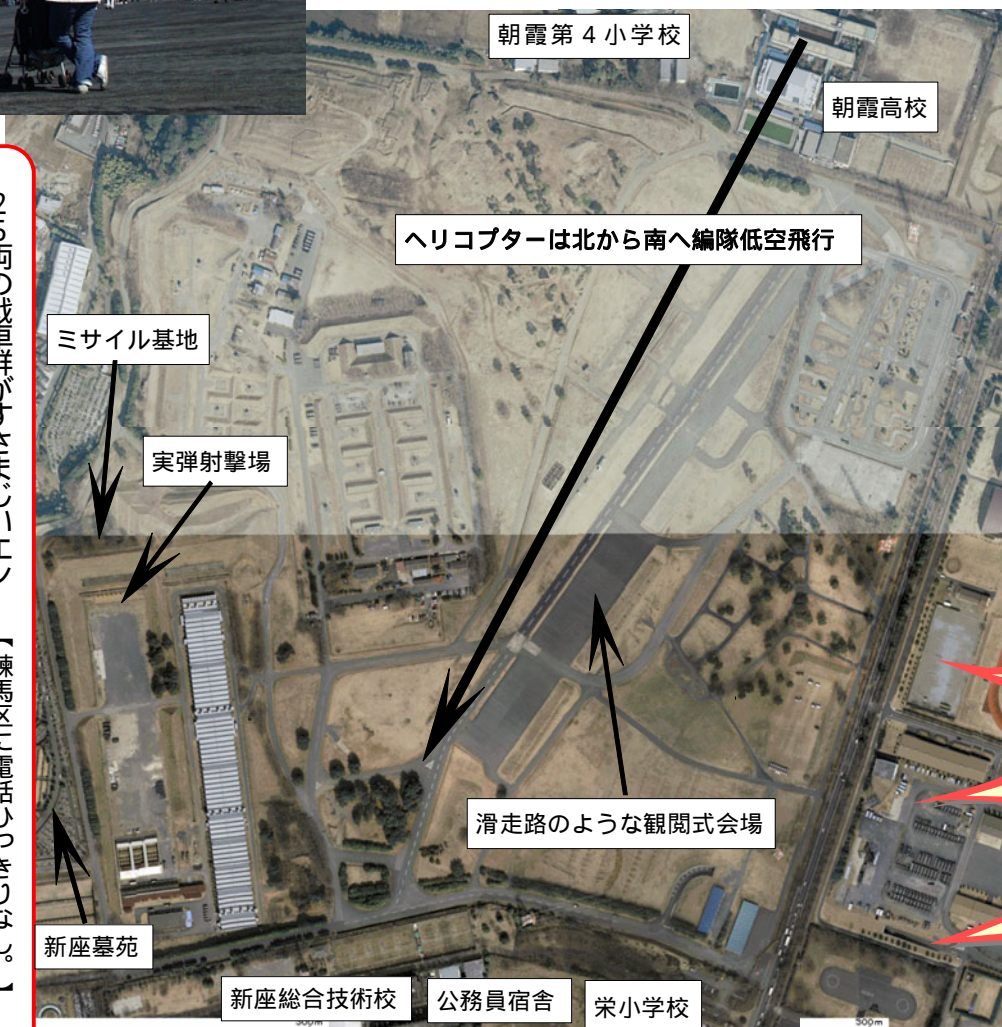
平成19年度自衛隊記念日記念行事観閲式(10月28日) データ

訓練日・時間：10月1日～28日(28日間) 午前5時～午後6時
合計313時間

車両200両：戦車70両 装輪車22両 トラック等108両
訓練時間：戦車など 約181時間
装甲車など 約223時間
トラックなど約171時間

航空機68機： ジェット機など15機 ヘリコプター53機
飛行時間：約30分×5日間
高度：122メートル～366メートルm
ジェット燃料など：戦闘機など 6万2880リットル
ヘリコプター 56万7912リットル
戦車など 27万6650リットル

燃料合計 約91万リットル(約1億7400万円)
参加者：隊員1万人 観客2万8千人
資料：防衛省情報公開資料と自衛隊より練馬区へ提出された資料に基づく。



燃費のよい乗用車だとリッター20km走る。
戦車は200メートルだという。が!?

戦車乗りの自衛官イワク!
「戦車はリッター5mだ」

戦車は急発進・急停車・急カーブが当たり前。

観閲式訓練 自衛隊機騒音に苦情
読売新聞埼玉版10月18日朝刊

25両の戦車群がすさまじいエンジン音とキャタピラ音の轟音とともに、地響きを立てながら・速度40キロジゼルエンジンから吐き出された黒煙は会場を覆つ

自衛隊広報紙(あづま)平成19年11月25日付より

【練馬区に電話ひっきりなし。】
総務係 電話口でも相手の声がかき消されるほどの飛行機の音が聞こえる
市民の声：窓ガラス割れそう！赤ん坊や年寄りいる困る！いったいなんだ情報提供せよ！家が揺れる！

【戦車の音で勉強にならない！】
小学4年生男子児童：算数の時間の時、先生もうるさいと怒っていた、黒板も震えて字がかけなかった。